

非核「神戸方式」43周年記念集会（3月18日）を成功させよう！

3月9日の6・9行動に参加を

トランプ米政権が核兵器を使いやすくする新方針「高く評価」と歓迎する安倍政権を許せない！



【左端／県被団協の立川事務局長。2段左端／西おさむ神戸市議】



☆6日の行動は、前日までの強風・豪雨は晴れ上がったが肌寒い中での訴えでした。新婦人の垣本千里平和部長や西ただす神戸市議などが、トランプ米大統領の新しい「核戦略態勢の見直し」の危険性をきびしく糾弾。これを「高く評価」と歓迎する安倍政権の被爆国にあるまじき態度に抗議の声をあげるように呼びかけました。3月が、原水爆禁止運動スタートのきっかけとなったビキニ水爆実験被災事件が起こり、核兵器を積んだ軍艦の入港を拒否する非核「神戸方式」が誕生した月であることを知らせ、核兵器禁止条約を一日も早く発効させるために「ヒバクシャ国際署名」への協力を訴えました。学生や青年たちが立ち止まって熱心に話を聞く姿が目立ちました。署名に応じた西宮市の若い女性は、「核兵器のたいへんな話をほとんど知る機会がなかった。もっと勉強したい」と兵庫県原水協の連絡方法を聞き取って帰りました。兵庫県被団協の立川重則事務局長（神戸市の会々長）はじめ新婦人、年金者組合、平和委員会、AALA 連帯委員会、日中友好協会、共産党など10人が参加し54筆の署名が寄せられました。

☆世界の犬勢に背を向ける安倍政権に対して、「ヒバクシャ国際署名」を広げ、禁止条約に参加せよと迫りましょう。まだ寒い中ですがご参加ください。

3月9日（金）正午～13時、場所は元町商店街東口